

白老地方の衣服の調査研究は、昭和30年以降に行われ、それによりルウンベにみられる白老の特徴は、細長いテープ状の布を直線的に縫い付けた模様と幅広の布を面的に切り抜き縫い付けた模様で構成されるとして、今日まで広く知られるようになりました。本展示会では、白老コタンで収集された衣服の調査や聞き取り調査などから、昭和初期までの白老コタンの衣服で判明した三つの大きな傾向（①直線的な模様が多用されている衣服 ②背中と裾に赤い布で切り抜いた模様が施されている衣服 ③全体的に切伏が施されている衣服）など情報を盛り込みつつ、時系列に沿って衣服を展示しています。従来考えられてきた「白老の伝統的な衣服」に、新たな推測を加えました。展示コーナー「白老コタンの衣服」で製作者や着用者の情報も紹介することで、白老の衣服文化の新たな一面を知る展示となっています。この機会にぜひご覧ください。

## 関連展示 国立アイヌ民族博物館 第4回エントランスロビー展示

### 「シラウォイ ウン クル テケカラ ペ —白老で活動するアイヌ工芸サークル—

(会場：1階エントランスロビー交流室横ケース)

本展示は、第2回テーマ展示に合わせて、白老で活動するサークルの現代作品を展示中。

「テケカラペ」、「フッチコラチ」、「チシポの会」、「エミナの会」、「チタラペ」に協力いただき、約16点展示しています。



展示期間中、ケースに隣接している、ミュージアムショップでは、白老の方々が製作した作品を特設スペースで販売しています。

## 関連イベント

### ◆展示室ガイドツアー

日時：4月16日(土)、30日(土)、5月7日(土) 14時～15時 特別展示室

開催中のテーマ展示の見どころを紹介します。

### ◆講演会「白老の衣服文化(仮)」 5月4日(水・祝) 13時30分～15時 1階交流室

本展示会の監修者・岡田路明さん(元苫小牧駒澤大学教授)、当館学芸員が対談形式で、これまでの白老地方の衣服調査や聞き取り調査などから、白老地方の衣服文化を紹介します。

#### 開館時間

令和4年3月15日(火) - 令和4年3月31日(木) 9:00～17:00  
令和4年4月29日(金) - 令和4年5月15日(日) 平日9:00～18:00 土日祝9:00～20:00  
※博物館へ入館できる時間は開館時間の30分前までです。

#### 休館日

毎週月曜日 ※祝日または休日の場合は翌日以降の平日 ※4月29日(金)～5月8日(日)の期間中は毎日開館します。

#### 料金

国立アイヌ民族博物館の入館料は、民族共生象徴空間(ウポポイ)の入場料金に含まれます。

#### ■民族共生象徴空間(ウポポイ)入場料(税込)

	個人	年間パスポート
大人	1,200円(960円)	2,000円
高校生	600円(480円)	1,000円
中学生以下	無料	—

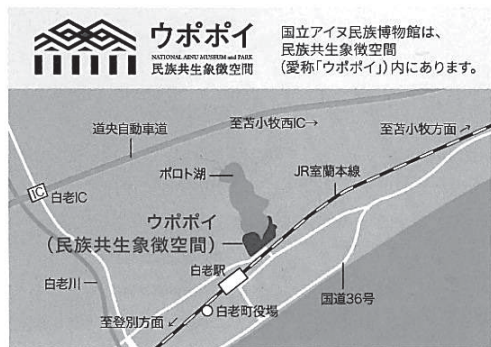
※( )は20名以上の団体料金。  
※障害者とその介護者各1名は無料です。入場の際に証明書等をご提示ください。  
※新型コロナウイルス感染症防止のため、一部取り扱いを変更しております。  
入場予約方法や最新の情報は、ウェブサイトからご確認ください。

#### 入館について

ご入館には、オンラインによる日時指定(事前予約)が必要です。

#### アクセス

札幌から約1時間、 乗用車 白老インターから車で約10分 電車を利用してウポポイへご来園の方は、「白老町交流促進バス」のご利用が便利です。  
新千歳空港から約40分 電車 JR白老駅から徒歩約10分



詳しくは国立アイヌ民族博物館のウェブサイトへ  
国立アイヌ民族博物館 検索 <https://nam.go.jp/>

